

シンポジウム

神々の国 出雲地域・地球環境保全(特に温暖化対策)

日程 : 令和4年11月2日(水)~3日(木)・八百万の神 神迎えの日

方法 : ハイブリッド(会場・On Line)

会場 : くにびきメッセ 会議室

参加費:

	一般男性	大学生	女性・高校生以下
会場	1,500円 3,000円	500円 1,000円	無料
On Line	1,500円 3,000円	無料	無料

小倉高校ゆかり(関係同窓会会員も対象)の一般男性と会場参加の大学生は半額割引です。

主催 : NPO 法人湖沼復活研究所

〒270-1451 千葉県我孫子市湖北台5丁目9-1

携帯電話 090-2465-6733 E-メール tadahiroagehina@gmail.com

自宅電話 04-7187-1686

趣旨

最初に古代出雲の創生に重大な影響を与えた島根半島の誕生及びこの地域に栄えた文化と権力の根本要因を地政学の視点から考察してみたい。

島根半島は、数万年前海底火山の活動によって造られた。半島の長さは、57kmに及び標高30~50mで、恰も日本海側への防波堤の機能を有する様になった。そこで、出雲は日本海の荒海による浸食を免れた。一方、斐伊川は、この地に大量の土砂を運び広い出雲平野を創出した。対馬海流のお陰で、季節風が穏やかな冬の出雲は暖かい。この暖流は、膨大な水蒸気と熱を持ち込む。まるで巨大造水装置の如くこの地に大量の水を供給した。従って、出雲は有史以来一度たりとも干害や冷害を経験しなかった。幸いにも台風の襲来は少なく来ても通過するのみなので被害は少ない。

此の様に、出雲は幾つもの地政学的幸運が重なった為、古代から人々が集い集落が生まれ神々を慕う社会が形成された。更に、天の恵みを受けた。

斐伊川は砂鉄を多量に含み、“たたら”技術で砂鉄を精錬し大量の鉄剣を製造することが出来た。此の様な好条件下 大和朝廷に肩を並べる強大な出雲国が誕生した。この時、古代出雲人は、大きな力と天を仰ぐ程の誇りを意識したことであろう。

21世紀は、早くも22年過ぎた。西洋文明と西洋科学は、現在 医学、遺伝子工学、AI及び量子コンピュータの分野で素晴らしい成果を挙げた。これらの中には、神の領域にまで踏み込んだ科学・技術も少なくない。しかし、巨大化した資本主義そして行き過ぎた自由の下、競争、効率化、細分化及び孤立化が進んだ。この為、ついて行けない人がかなり多くなった。中には、自分を見失い精神を病み自ら命を絶った人も少なくない。

その傾向は、太平洋側の大都市に於いて著しいのではないだろうか？。

一方、日本海側、特に出雲人は神々と共に太古の昔から変わることなく、慎ましくそして幸せに暮らしてきた様だ。経済は小規模で人口も少ないが、出雲人はいつも幸福な表情をしている。これは、いったい何故であろうか。

21世紀になり、やっと出雲の自然・文明・文化・歴史が日の目を見るようになったのではあるまいか？まず、最初は癒しとして。次いで、出雲の文化と歴史そして豊かな自然と食が、太平洋側の人々の心に大きな影響を与えていると考えられる。

そこで、私たち出雲人と出雲に心を寄せる者は、積極的に出雲の良さを世に知らしめ多くの人々に幸せを齎す事が期待されている。

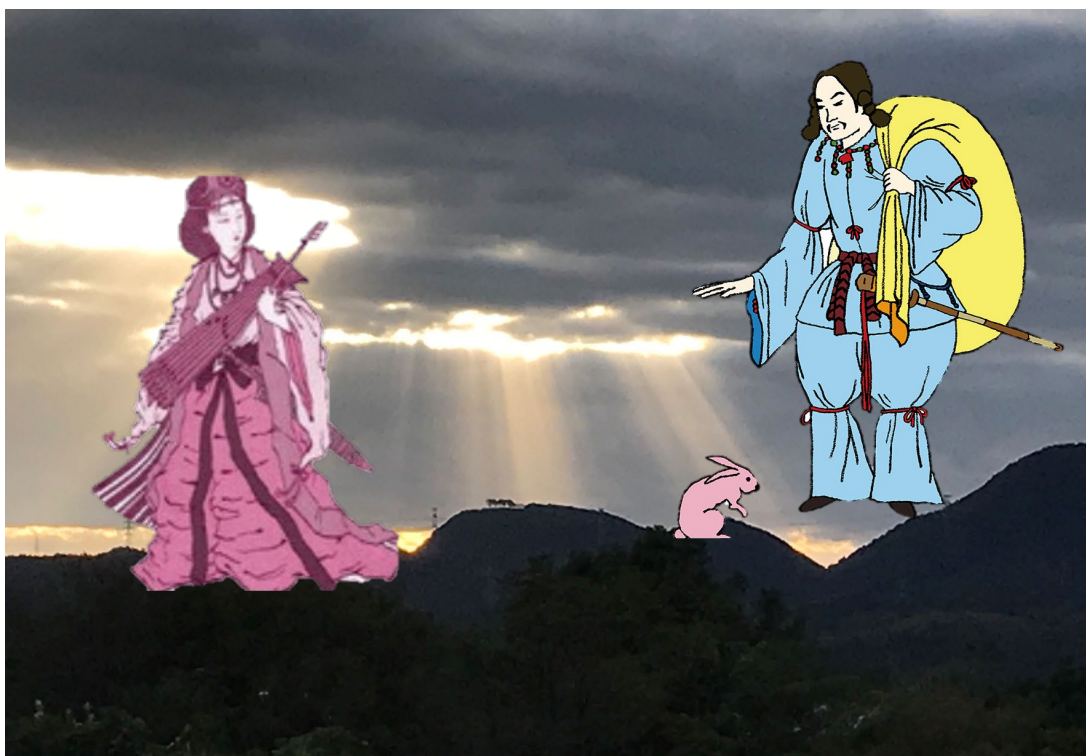
日本人だけでなく世界中の人々に、特に貧しい東南アジアやアフリカの人々を助けてあげたい。古代出雲の誇りと力を持ち、神々のみ心、豊かな自然と温泉、美味しい海の幸・山の幸・湖の幸、優れた文化、神話時代から続く歴史から生まれた理念や哲学を基に、更に日本の伝統的思想、例えば 聖徳太子の和の精神等を加えれば“日本平和思想”となるものが誕生するのではないだろうか？

今後、各地からあらゆる分野の優れた人(賢人)を招き、出雲産平和主義を構築すれば、今の閉塞した民主主義を補完する思想が生まれると考えられる。

正に「八雲立つ出雲から陽が昇る」を実現したいものである。

本シンポジウムは、この様な考えを基にして以下の6項目を中心に講演と討論を行う。

- (1) 地球環境保全（特に、地球温暖化対策）の為の哲学（環境倫理・持続型社会の為の地球資源・持続の為の科学・持続の為の縮小社会）を構築・実践する
- (2) 農林漁業の在るべき姿を識り復活・振興させる
- (3) 水と土の在り方を識り復活させる
- (4) 湖沼の在り方を識り復活させる
- (5) 出雲の自然・文化・歴史・古代出雲の誇りと力を識り実践する
- (6) 宇宙・美・宗教に学び悟りを得るそして人類生き残りの為の方法を見出す



シンポジウム

神々の国 出雲地域・地球環境保全

シンポジウムのスケジュール

第1日

- 9:00~9:15 趣旨説明 森忠洋 (NPO 法人 湖沼復活研究所 所長
元島根大学農学部 教授)
- 9:15~9:45 「環境倫理」 松井三郎 (京都大学名誉教授)
- 9:45~10:15 「持続型社会の為に地球資源」 楠田哲也 (九州大学名誉教授)
- お茶の時間 (15分)
- 10:30~11:00 「持続の為に科学」 小貫元治 (東京大学 准教授)
- 11:00~11:30 「持続の為に縮小社会」 松久寛 (縮小社会代表 京都大学名誉教授)
- 11:30~12:00 「出雲の地政学的検討」 野村律夫 (島根大学名誉教授)
- お昼 (1.5時間)
- 13:30~14:00 「連携湖-宍道湖・中海の在り方「汽水域水産業振興と地域発展の為に
—中海の真の姿を求めて— 宮澤成男 (水辺研究所所長)
- 」 14:00~14:30 「農業の在り方—循環型農業・社会・地球の構築」
— プロバイオテック農業を目指して— 松井三郎
- 14:30~15:00 「漁業の在り方—森は海の恋人—」 畠山重篤 (京都大学名誉教授)
- お茶の時間 (15分)
- 15:15~16:45 ビデオ「自然農法を目指して」
- 間 (5分)
- 15:50~16:30 質問と話し合い 司会 楠田哲也 小貫元治
- 自由時間 (1時間)
- 17:30~19:30 ご縁の宴

第2日

- 9:00~9:45 **ビデオ「地球環境保全—特に地球温暖化対策—」** (国立環境研究所)
- 9:45~10:15 **「水と地球環境保全」** 恩師 須藤隆一先生に代わって 森忠洋
- 10:15~10:45 **「土と地球環境保全—豊かな大地を求めて—」**
熊澤喜久雄先生に代わって (NPO 法人湖沼復活研究所理事)
- 10:45~11:15 **「土壌環境と微生物—不耕起栽培と温泉菌の動態・使命との関連—」**
金澤晋二郎 (元九州大学 農学部 教授)
- 11:15~11:45 **「野草は過去何度も地球を救った、そして今再び?」** 森忠洋

お昼 (1時間 15分)

- 13:00~13:30 **「嫌気・好気性発酵の結合(融合)有機物総合資源化センターを活用した循環型農業・社会の構築」** 斎藤均 (21世紀水倶楽部 理事)
- 13:30~14:00 **特別講演 「古代出雲の誇りとカ—」** (藤岡大拙 松江歴史館名誉館長)
- 14:00~14:30 **特別講演 「釈迦の悟りのモデル」** 元田武彦 (哲学者)

お茶の時間(15分)

- 14:45~15:15 **特別講演 写真集から「宇宙と霊性」** 実行委員会 編集
- 15:15~15:45 **特別講演 「悟りと美学」** 川崎尊康(抽象画 画伯)
- 15:15~15:45 **特別講演 「人類生き残りのための“救命ポート”**
—一国生みの島から生存可能社会の提案— 内藤正明 (京都大学名誉教授)
- 15:45~15:30 **質問と話し合い 司会** 楠田哲也
- 15:30~16:00 **総括と声明文発表** 森忠洋



第3日（出雲を識る） 希望者のみ

9:00~15:00 出雲の自然・文化・歴史・神社・温泉を味あう一足立美術館、
神魂（かもす）神社、熊野大社及び八重垣神社、海潮温泉

神魂神社

15:00 宿泊所 海潮温泉に到着 座談会まで休憩

16:00~17:00 演者を囲んだ座談会

18:00~19:30 夕食

19:30~ 自由

第4日（さらに出雲を識る）

9:00~ “たたら”、松江城、小泉八雲記念館（旧居）、武家屋敷、堀川下り、宍道湖遊覧、玉造温泉、県立美術館、風土記の丘等を案内する。

午前観光の後、午後出雲空港に移動

後援（検討中）

神魂（かもす）神社

出雲大社

島根県

松江市

出雲市

ホンザキ財団

シンポジウム実行委員会

(Senior First)

- 委員長** 森 忠洋 (NPO 湖沼復活研究所 元島根大学農学部 教授)
幹事 尾形浩一 (島根大学 名誉教授)
幹事 斉藤 均 (環境研究所群馬 代表 NPO21世紀水倶楽部)
委員 西村律夫 (島根大学 名誉教授)
委員 国井秀伸 (島根大学 名誉教授)
委員 西村文武 (京都大学 准教授)
委員 小川澄男 (トモエミルク執行役員 島大関東同窓会会長)

Adviser 楠田哲也 (九州大学 名誉教授)

Adviser 松井三郎 (京都大学名誉教授)

出雲科学技術委員会

(Senior First)

- 委員長** 森忠洋 (NPO 湖沼復活研究所 所長 元島根大)
幹事 斉藤均 (環境工学研究所群馬 代表 NPO 日本水倶楽部)
委員 西村文武(京都大学工学部 准教授)